第67回チャリティー杉並文化フォーラム　南相馬市支援コンサート

2015年

4月26日(日)午後3時30分 杉並公会堂 大ホール

（開場午後2時30分）

もう一度 聴きたい 歌いたい

第4回 心のふるさと杉並「童謡・唱歌」まつり

杉並在住、小林亜星氏・伊藤幹翁氏による企画構成

【予定曲目】花 夏は来ぬ かなりや 浜辺の歌 十五夜お月さん 月の沙漠 赤とんぼ 故郷の空 螢の光 わらべ唄 あの町この町 夕焼小焼 他

【特別ゲスト】
永六輔
小林亜星

【指揮・編曲・音楽監督】
伊藤幹翁（作曲家・日本童謡協会常任理事）

【歌手】
大和田りつこ
たいらいさお
岡崎裕美
稲村なおこ
川口京子
渡辺かおり
雨宮知子

【演奏】
ピアノ：篠崎仁美　長谷川芙佐子
スペシオーザ★アンサンブル
主宰 諸岡由美子（チェロ）
山口裕之（コンサートマスター）
高木弾（ヴァイオリン）
岡さおり（ヴィオラ）
吉本宗司（コントラバス）
小川正毅（ホルン）
柳原佑介（フルート）
七澤英貴（オーボエ）
瀧田奈々子（クラリネット）

【友情出演】
福生日本文化こども教室（日本舞踊）
振付・指導：花柳千衛里
ハッピーハーモニー・ジュニア（児童合唱）
指導：柴田晃子
ピアノ：木村裕平

入場料金：全席指定4,000円（村民3,600円）

※未就学児童入場不可　※出演者・予定曲目は、変更する場合がありますので予めご了承ください

チケットのお問い合わせ・お申し込み：

裏面「チケット申込書」に必要事項をご記入のうえ、
杉並文化村事務局まで、郵送（ハガキ記載可）またはFAXにてお送りください。

- 杉並公会堂 ☎03-5347-4450（10：00～19：00 ※臨時休館日を除く毎日）
- 杉並区役所1Fロビー・コミュかるショップ
- 電子チケットぴあ ☎0570-02-9999［Pコード：251-597］

THE 67th CHARITY SUGINAMI CULTURE FORUM

NPO杉並文化村事務局：〒166-8577 杉並区阿佐谷南3-35-21リボン館内　FAX 03-5397-7772　☎03-5397-5503

主催：NPO杉並文化村　共催：杉並公会堂（(株)京王設備サービス）

杉並文化村　検索

後　援：杉並区／杉並区教育委員会／杉並区交流協会／杉並区社会福祉協議会／杉並区コーラス連盟／（一社）日本童謡協会
（一社）日本作曲家協議会／（株）細田工務店／アサヒ飲料（株）／サントリーフーズ（株）／ジェイティ飲料（株）
ポッカサッポロフード&ビバレッジ（株）／ジュンコ・アソシエーション／アジア婦人友好会／杉並子ども未来委員会

協　賛：（株）エムエヌケイ／（株）カネコ／四面道薬局／セイキ工業（株）／つきじ喜代村すしざんまい
東洋住宅センター（株）／（株）冨岡測量設計事務所／（株）野村総業／牧野電設工業（株）／みすゞ建設（株）・クラブイン荻窪／（株）ユカ

「皆様にお願いします」

小林亜星

私は当年取って82才になりました。

正に末期高齢者ですが、私達が生まれた昭和の初め頃に比べると、今の世の中随分変わってしまいました。その頃のトーキーになったばかりの、ニュース映画のアナウンサーの声などは、今の人間の声とは全く声質が違います。誰もが酔ったビング・クロスビーの、あの蕩けるようなバリトンは、今の人類には発声不可能です。

今日唱って頂く歌手の方々は、殆ど皆さんメゾ・ソプラノですが、最近のヒット・ソングの歌い手は、女性は殆どアルトで低く、男性はテノールで高い。男女の声は殆ど同じ高さです。こんな処に、男女平等の思想が反映されているのでしょうか？

今のヒット・ソングの殆どは、歌と言うより、踊りを伴ったエンタテイメントです。

ここで、ちょっと面倒な話になりますが、音楽には、二つの本質の違った形体があります。一つは踊りから生まれた音楽。一つは言葉から生まれた音楽です。

踊りから生まれた音楽は文字通り、踊ると言う肉体的な喜びから生まれたものですから、言葉は二の次、メロディーよりもリズムが大切になります。最近の若者の音楽の殆どはこの種のものです。

もう一つの音楽は言葉から生まれた音楽です。宮中の歌会始（うたかいはじめ）でお解りのように、言葉は自然にメロディーを生みます。こちらは言葉と云う精神的要素から生まれてますから、精神的な音楽と言えるでしょう。

何も「精神的音楽の方が高尚で、肉体的音楽の方はチト落ちるんだ」などと言う積りはありません。どちらも音楽の大切な二つの要素なんです。

少々以前に一世を風靡したフォークミュージック等は、大いに言葉を大切にした音楽でした。ですが歌曲の場合、肉体的音楽の方は、それ程言葉に重きを置きません。場合によっては掛け声だけでもOKなんです。むしろ言葉は後ろから嵌め込んだ方が良いくらい。

と言う訳で、こちらは作詞（Words by）と表記されます。

一方言葉から生まれた音楽の方は、作詩（Ryric by）となります。

今世紀に入ってから、世界のヒット・チャートを賑わしている曲の殆どは前者です。

ここで言わなきゃいいのに、昔の歌は良かった等と、つい年寄りの愚痴が出てしまいます。日本が何とか平和だった、大正から昭和の初めまでの時代！　それは正に皆が、自由と平和を謳歌した時代でした。アンデルセン・グリム・ガリバー・母を尋ねて三千里・小公子・キンダーブックに赤い鳥。子供の国。

こうして我々は今日唱われる歌に代表されるような優しさと抒情を、充分に味わって育ちました。

一方大人の世界はエログロ・ナンセンス時代と呼ばれ、夜は何と東京音頭を踊り狂って居りました。

それが、あっという間に二・二六。そして日本は戦火に飲み込まれて行きました。

私は今でも、日本人程平和を愛する優しい民族は無いと信じております。世界に類の無い優しい歌の数々が、それを証明しています。先人の残したこれらの歌の心が、今程大切に思われる時代はありません。この年になると、それを痛い程感じるのです。戦争を知っている世代は、もうすぐ居なくなります。

どうか皆さん、子供達に今日唱われた歌の数々を、一緒にお風呂に入った時や散歩した時に、心を込めて唄ってやって下さい。下手でいいのです。心を込めれば必ず伝わります。競走や頑張りでは得られない、もっと大切なものがある事を、優しい平和の心を伝えてやって下さい。お願いします。

小林亜星氏（左）、伊藤幹翁氏（右）

チケット申込書

第67回 チャリティー杉並文化フォーラム

お名前				年齢	歳
郵便番号	〒	ご住所			
電話番号		村民（会員）	はい ・ いいえ	紹介者（チラシ入手先）	
				枚数	枚

上記項目ご記入の上、**郵送**または**FAX（03-5397-7772）**にてお送りください。

※申込書確認後、郵便局の振込依頼票（手数料無料）をお送りいたします。ご入金確認後チケットを郵送申しあげます。